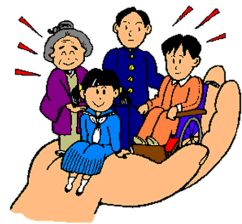


賞 長 町 野 高



国と共に今世に立ち向かう日本

高野町立高野山中学校 三年 東 愛峯

隣国の中国武漢市で、コウモリの個体群から新型コロナウイルスが検知され、グローバル化が進む、日本国内にも感染が広まった。また新型コロナウイルスにより日本、世界中で完全失業者が大幅に増加し給付対象者一人につき十万円の給付も施した日本。そのお金はどこから湧いて出たのか。勿論、泉の様に湧いていないのは確かだ。疑問に思ったことはすぐに調べる。さて、財源はどこから来たのか。インターネットで調べてみると、給付金の財源は、国債で賄うらしい。国債とは政府が銀行からお金を借りることで、お金を借りる際の借入書が、国債、という債券になる。国は銀行からお金を借り、給付金として給付する。政府は、お金を増やして、国民経済のお金の量を調節する手段は、無いらしい。そして銀行から借りたお金を返済するため、私達から税金を頂戴するのだ。勿論、コロナショックの時に助けてくれた政府にお礼としても、コロナでの費用の面でも多くの支出がでたと思う。国は私達の為に税金で多くの大規模な政策を行ってくれているのだ。税金があるからこそ、裕福層だけでなく、経済に厳しい家庭にもお金が巡る。ということである。給付金の財源は私達の税金からくると分かった。

他にも税金が何処でどのように使われているのか調べてみた。一般的に広く知られているのが、医療費や自然災害の事態に、無償で政府から支援がもらえること。他にも地方交付税というものがあつた。これは地方の収入になるものを政府が一旦収集し、再び地方に配ることだそう。地方によっての収入の差を埋めるためにこの制度ができたらしい。これにより、日本全国に均等にお金が配布され、どの地方も不平なく自分の地域をうるわすことが出来る。また頃年、日本で消費税が十パーセント増税された理由もこの機会に調べてみた。消費税の場合、所得税の様に働いた分だけ税金を取られることなく、法人税の様に企業が法人税の安い国に移ることが増えたりしない。消費税は顧客皆が払うので、税金を取り損ねない。こうした理由で消費税が増税されたと分かった。消費税といえば高消費税な国がある。消費税が世界一の国はハンガリーで、二十七パーセントと超高消費税率だ。EU諸国の国は消費税二十パーセント以上が多い。こう考えると日本の消費税はそれほど高くない、もしくは低い方だと言える。消費税が高いと負担が大きくなる分、メリットも大きい。有名なのがフィリピンは大学までの教育費が無料だったりスウェーデンは子供の医療費が無料というケースである。子育てに忙しい時期は何かとお金にこまるので、そんな時期の支援はとてもありがたい。

私は正直税金に対し、批判的に思っていたが疑問に思ったことを調べていくうちに「全ては私達国民の為に」と痛感した。税金は必要欠くべからざるものなのだ。